

ボッコちゃん

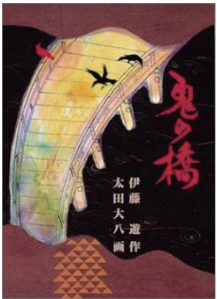
星新一 著 新潮社



バーのマスターが作った、精巧な美人のロボット、ボッコちゃん。店のカウンターの中におかれたボッコちゃんを、誰もロボットだと気付きません。楽しい短編が全部で 50 編入っています。

鬼の橋

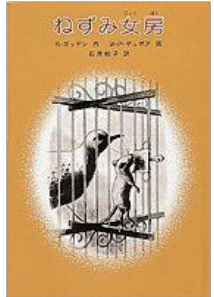
伊藤遊 作、太田大八 画 福音館書店



井戸からあの世へ通い、閻魔(えんま)大王の右腕として働いたという伝説を持つ小野篁(おののたかむら)の繊細な少年時代を描く。少年篁は、妹が命を落とした古井戸から冥界の入口へと迷い込む。そこはあの世とこの世を結ぶ道となり、やがて鬼が現れる。

ねずみ女房

ルーマー・ゴッデン 作、W・P・デュボア 画、石井桃子 訳 福音館書店



家の中が世界のすべてだと思っていたねずみ。ある日やってきた“きじばと”は、そんなねずみに、閉じ込められた鳥かごの中で外の世界のことを話してくれます。だんだん元気がなくなっていく、はと。ねずみはある日決心します。

君たちへの遺産 白神山地

齋藤宗勝 著 アリス館



世界遺産の白神山地。その森の豊かな自然と、歴史・文化を紹介します。

道具と機械の本

デビッド・マコーレイ 作、歌崎秀史 訳 岩波書店



原始的な道具から現代的な機械の仕組みまでを、わかりやすいイラストで、原理によって分類し解説している本です。思わずうなってしまう一冊。

みんなのなやみ

重松清 著 新潮社



なやんでいたっていいじゃないか。もやもやしてもそれでいい。なやみとのつきあいかたを、著者といっしょに考えていく。

ブロード街の12日間

デボラ・ホプキンソン 著、千葉茂樹 訳 あすなろ書房



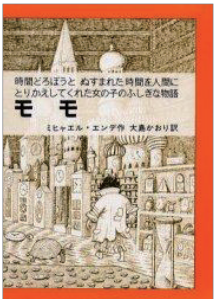
19 世紀、ロンドンのブロード街にコレラが流行する。秘密をかかえ、悪党に追われながら 1 人でたくましく生きていた少年イールは、医師のスノウ博士とともにこの病気の原因をつきとめるため奔走する。スノウ博士は実在の人物。



★シリーズあり

モモ

ミヒヤエル・エンデ 作、大島かおり 訳 岩波書店



“灰色の男たち”にそそのかされた人々は、良い暮らしをするためにと思い込み、必死で時間を俟約し、せかせかと生きようになりだした。モモは、時間どろぼうから、盗まれた時間を取りかえそうとする。

ピアノ調律師

M.B.ゴフスタイン 作・絵、末盛千枝子 訳 現代企画室



祖父の仕事に憧れる孫のデビーは、ピアノ調律師になるのが夢です。祖父はその夢をわかってくれませんが、デビーの「好き」という強い気持ちに心を動かされます。作者自身による挿絵が魅力的で、幸せに満ちた作品です。

センス・オブ・ワンダー

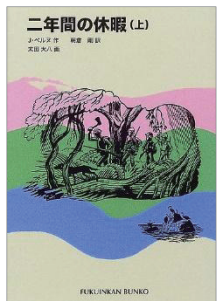
レイチェル・カーソン 著、上遠恵子 訳 新潮社



この本は、自然の美しさや神秘を子どもとともに、どのように感じあったらいいかを作者の実体験を踏まえ、味わい深く語っている。文中の写真は美しく、読む者の目をくぎづけにする。

二年間の休暇

ジュール・ベルヌ 作、太田大八 画、朝倉剛 訳 福音館書店



15 人の少年をのせた大型ヨットが、無人島に流れ着く。互いの偏見や反目を乗り越えて団結し、困難に立ち向かう少年たちの姿が描かれる。おなじみ「15 少年漂流記」の完訳版。

ヒトラー・ユーゲントの若者たち

S・C・パートレッティ 著、林田康一 訳 あすなろ書房



『とうとう現れた。わたしたちを、この混沌とした世界から救い出してくれる人が』多くの若者達がそう信じ、夢中になった。ヒトラーの熱い呼びかけを聞いて。ナチスに身も心も奪われていく多くの若者がいる一方で、ナチスに疑問を感じ、反旗をひるがえした若者達もいた。

算法少女

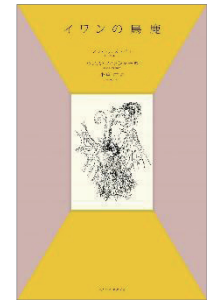
遠藤寛子 著 筑摩書房



江戸の下町に暮らし、父の手ほどきを受けながら和算書「算法少女」を記した娘あきが、大名や学者相手に算術の対決に挑む。「和算」は学者だけでなく武士や庶民にも広まっていた日本独自の算術で、和算書「算法少女」は現存する。

イワンの馬鹿

レフ・トルストイ 作、ハンス・フィッシャー 絵 小宮由 訳 アノニマ・スタジオ(KTC 中央出版)



軍人と商人の兄に「馬鹿」と言われている弟のイワンは、戦争にもお金にも興味がありません。悪魔は、人間同士をいがみあわせるために、あの手この手でイワンを誘惑しますが…。「本当の幸せ」について考えさせられるトルストイの創作民話。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディみかこ 著 新潮社

日本人の母と英国人の父を持ち、英国で暮らす中学生の日常を母親の目線から描いたノンフィクション。人種差別や貧富の差などの様々な問題に直面しながら、しなやかに成長していく姿に心を打たれる。

弟の戦争

ロバート・ウェストール 作、原田勝 訳 徳間書店

“ひとつの小さな体の中に戦争が丸ごとあった”
絶対的な正義の名のもとに行われた湾岸戦争。
遠く、イギリスの地で少年は、弟をとおしてその戦争を見ることになる。

運命の騎士

ローズマリ・サトクリフ 作、猪熊葉子 訳 岩波書店

時は、11世紀。
イギリスはノルマン人の支配下になり胎動の時期を迎えていたころ…
犬飼の孤児ランダルが、ついに騎士となるまでの数奇な運命が描かれています。

私は売られてきた

パトリシア・マコーミック 著、代田亜香子 訳 作品社

これは現実には起きていることをもとにしたお話です。13歳のラクシュミーは、知らない国に売られて行きます。状況もわからないまま、強制的に働かされるつらい日々。それでも彼女は知る喜びを見つけ、希望を失いませんでした。

あん

ドリアン助川 著 ポプラ社

どら焼き屋の店長千太郎と中学三年生のワカナが出会った老婦人徳子は、辛く哀しい人生を送ってきた。徳子の優しさに包まれた二人は、ハンセン病患者に対する偏見と差別の歴史を知り、生きる意味を考える。

ポケット詩集

田中和雄 編 童話屋

「過去、見ず知らずの誰かが、わたしと同じ想いをこんな言葉で書きとめていた！」
心に響く言葉たちが
33編の「詩」になって、あなたに読まれるのを待っています。
27人の詩人による
ポケットに収まる壮大な詩の世界。

100万回生きたねこ

佐野洋子 作／絵 講談社

100万回死に、100万回生きたねこがいました。
その間、自分以外のものを愛したことのない彼が、ある時1びきの白いめすねこに恋をします…。

思い出のマーニー 上・下

ジョーン・ロビンソン 作、松野正子 訳 岩波書店

みんなの中にとけこめず、自分の中に閉じこもっているアンナ。
都会を遠く離れた村での不思議な少女との出会いが、アンナの心を変えていきます。

影との戦い

ル＝グウィン 作、清水真砂子 訳 岩波書店

人より優れた能力を持っていたゲド。
その驕りの気持ちから、死の影を呼び出してしまふ。
その影に追われ、苦しみ続けるゲドは、やがて影と立ち向かう。
その影の正体は…。

ツバメ号とアマゾン号 上・下

アーサー・ランサム 作、神宮輝夫 訳 岩波書店

「オボレロノロマハノロマデナケレバオボレナイ」
大好きな父からのゴーサインを受け、ウォーカー家の4人きょうだいは、小さな帆船ツバメ号で湖の探検にでかける。無人島でのキャンプ、アマゾン海賊からの挑戦、宝探し、嵐の一夜…。子どもたちだけで過ごす夏休みの冒険物語。

海の島

アニカ・トール 著、菱木晃子 訳 新宿書房

第二次世界大戦初期、ナチスのユダヤ人弾圧から逃れるためオーストリアからスウェーデンに疎開してきた姉妹の成長物語。屈託のない妹ネッリに複雑な心情を持つ姉ステフィは、両親との再会を心の支えにここでの生活を受入れようとする。

きれいな絵なんかなかった

アニタ・ローベル 作、小島希里 訳 ポプラ社

ユダヤ人であるために、ヒトラーによって踏みにじられた少女時代。被害者という立場を越えて、自らの体験をありのままに綴った絵本作家アニタ・ローベルの自伝。

西の魔女が死んだ

梨木香歩 作 新潮社

登校拒否だった中学1年の時、まいは“魔女”とよぶ英国人の祖母と生活を始める。
自然に抱かれ祖母と暮らすうちに、まいは生きる力を取りもどす。

飛ぶ教室

エーリヒ・ケストナー 作、高橋健二 訳、ワルター・トリヤー 絵 岩波書店

ドイツの寄宿舎でクリスマスを迎える準備におおわらわの子どもたち。でもそれぞれに家庭の事情が見えかくれしている。
やがて子どもたちは、友だちや先生との深い心の結びつきが、自分の成長を助けてくれることを知る。

ハートビート

シャロン・クリーチ 作、もきかずこ 訳 偕成社

12歳のアニーは、はだしで大地をふみしめ走る。
アニーの母親の中では、赤ちゃんが少しずつおおきくなり、それに呼応するように、これまでいつもかしこく頼りになった祖父は、日に日に弱っていく。家族それぞれの命のリズムをみつめる、散文詩形式の作品。